

(1) ことえ

(A) 高台^{たか だい}におばあちゃんの手^てを引^ひいて逃^にげる

【かいせつ】 ニュースやまちの防災^{ぼう さい}むせんで津波^{つ なみ}注意^{ちゆう い}報^{ほう}がだされている時^{とき}は、
おばあちゃんや周り^{まわ}の人^{ひと}が何^{なん}と言^いっても、高^{たか}い所^{ところ}に逃^にげよう。お年^{とし}寄^よりや体^{からだ}
の不自^ふ由^{じゆう}な人^{ひと}はみんなが手^て伝^{つだ}ってあげよう。

(2) こたえ

(C) 大人^{おとな}たちに、何か^{なに}手^て伝^{つだ}えることがないかを聞いて、
協力^{きょうりよく}する

【かいせつ】子どもでも手^て伝^{つだ}えることや、子どもだからこそできることはたくさんあるよ。たとえば、小さい^{ちい}子^こたちと遊^{あそ}んであげること^{おとな}も大人にとっては助^{たす}かるよ。勝手^{かって}に動^{うご}くとじゃまになってしまうこともあるから、何^{なに}をしてほしいか、まずは聞^きいてから手^て伝^{つだ}おう。

(3) こたえ

(B) とっても大事な物^{だいじ もの}だけど、津波^{つ なみ}が来る^くかもしれないから、
お母さん^{かあ}を引きとめる^ひ

【かいせつ】大事な物^{だいじ もの}が家^{いえ}にあったとしても、津波^{つ なみ}が来る^くかもしれないので、
帰る^{かえ}のはきけんだよ。お母さん^{かあ}や周り^{まわ}の人が家^{いえ}にもどろうとしたら、あぶない
ので引きとめよう^ひ。自分^{じぶん}の大事な物^{だいじ もの}があっても帰る^{かえ}のはきけんだから、すぐに
逃げよう^に。

(4) ことえ

(C) 遠^{とお}まわり^{うみ}だけど海^{みち}からはなれた道^いで行く

【かいせつ】(A) たおれた電柱^{でんちゆう}に近づ^{ちか}ぐのはきけんだよ。切^きれた電線^{でんせん}にもぜったいさわらないようにしよう。(火事^{かじ}になるかもしれない!)(B) 津波^{つなみ}が来^くるかもしれないので、海^{うみ}に近づ^{ちか}ぐのはやめよう。

(5) ことえ

(C) スポーツドリンク

【かいせつ】 かいちゅうでん どう 懐中電灯 よう い を用意してやってみてね！

(6) こたえ

(B) ^{もう ふ}毛布

【かいせつ】 ^{もう ふ}毛布のはしをくるくるとまいて、^{りょう がわ}両側から持つと担架のよう^もに持つことができるよ。(A) ^{おも}いすの重さがあるので^{はこ}運ぶのがたいへん。(C) ^{ぼう}棒が2本^{ほん}あれば、^{ふく}服のそでを^{ぼう}棒にとおして、^{たん か}担架のよう^もにすることができるよ。



(7) ことえ

(C) 新聞紙を下にラップを上にして体にまく

【かいせつ】新聞紙を下にして、ラップを外側にすると、より暖かいままでいられるよ。ラップの代わりに、ゴミ袋を使っても暖かいよ。



まい しんぶん し ふた
2枚の新聞紙を二
つ折りにし、その
うえからラップをま
ぎつけます。



ほ おんこう か
保温効果がアップ
します。

(https://www.nhk.or.jp/sonae/douga/hinanseikatsu_0023.html)

ぶくろ つか とき あな そで とお なか しんぶん し い
ゴミ袋を使う時は、穴をあけて袖を通してから、中に新聞紙を入れるよ。



(https://www3.nhk.or.jp/news/contents/bousai_tips/cont01.html)

(8) こたえ

(B) ゴミ袋 ^{ぶくろ}

【かいせつ】 かぶってレインコートのようにしたり、リュックの ^{なか} 中に ^{まい} 2枚かさねれば持ち運びやすいタンクになるよ。ダンボールと ^{しんぶんし} 新聞紙があれば ^{みず} 水がないときのトイレのかわりにもなって ^{べんり} 便利だから、^{ぶくろ} ゴミ袋は ^{おほ} 多めにそなえておこう！

^{ぶくろ} ^{つか} ^{かた}
ゴミ袋の使い方1…ポンチョ



^{ぶくろ} ^{つか} ^{かた} ^い ^{どう}
ゴミ袋の使い方2…移動タンク



リュックの中に、
ゴミ袋を2重に入れる



水道が使えないとき、マンションの高層階などに
水を運ぶことができます。

^{ぶくろ} ^{つか} ^{かた} ^{みず}
ゴミ袋の使い方3…水なしトイレ



ゴミ袋を二重にかぶせる
TWO LAYERS OF GARBAGE BAGS



新聞紙を吸収剤代わりに入れる
NEWSPAPERS AS ABSORBENT



空気を抜いてしぼってから捨ててください。

Remove air, tie up and dispose.

(9) ことえ

(B) 友達^{とも だち}を説得^{せつ とく}して高台^{たか だい}の学校^{がっ こう}にいっしょに避難^{ひ なん}する
(C)は△)

【かいせつ】大事^{だい じ}なのは、すぐに高台^{たか}の所^{ところ}に逃げる^にこと。時間^{じ かん}が経つ^たと津波^{つ なみ}が来^きてしまうかもしれないよ。(C) 友達^{とも だち}を説得^{せつ とく}していっしょに逃げる^によう。でも、時間^{じ かん}がかかってはだめ。自分^{じ ぶん}が逃げ^にはじめれば、友達^{とも だち}や周り^{まわ}の人が見習^{ひと み なら}って逃げて^にくれることもあるよ。

(10) こたえ

(A) 学校がまちの避難所だから、遠くて大変だけど
学校に戻る

【かいせつ】(B)(C) 大きな地震が起きたら津波が来ると思って、海の近くには行かないようにしよう。(D) 津波はあっという間にやってくる。すぐに高い所に逃げよう。

(11) こたえ

(D) 「^{たいいく かん} ^{あそ} 体育館で遊んでいたら^{じ しん} ^お 地震が起きたから
^{たいいく かん} ^ま ^{なか} ^い 体育館の真ん中に行って、^{あたま} ^{まも} しゃがんで頭を守ったよ。」

【かいせつ】(A) と (C) もまちがいではないけど、^{じ しん} 地震でゆれはじめたらおさまるまで、まずは^{じ ぶん} ^{まも} 自分を守ろう。守るためには、^{からだ} ^{まる} 体を丸くして^{あたま} ^て 頭を手でかくす「だんごむしのポーズ」をしよう！(B) は^{まど} ^わ 窓が割れるかもしれないから、はなれよう。

(12) こたえ

(B) 駅員さんの指示を待って、言うとおりにする

【かいせつ】(A) 逃げる途中で津波が来たり、あぶない道を通って事故にあうかもしれないよ。電車にいる時は勝手に動くのはやめよう。(C) (D) 駅員さんの指示が聞こえなくなってしまう、ほかの人のめいわくになるのでやめよう。